

EUSI メールマガジン Vol. 083

「2015のEUとフェデラル・ヨーロッパの夢——欧州審議会議員会議グロス報告に寄せて」
(臼井陽一郎)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 065】

「2015のEUとフェデラル・ヨーロッパの夢——欧州審議会議員会議グロス報告に寄せて」

臼井陽一郎 (新潟国際情報大学国際学部教授)

2015年は、ヨーロッパ統合の歴史にとって特筆すべき一年となった。あるいはこう書いてしまえば正確でないのかもしれない。もはやヨーロッパ統合の歴史は閉じてしまったと、記述すべきだろうか。かつて統合を目指したヨーロッパは、いまや意味を喪失した歴史に不安定に漂っているだけだと、理解すべきなのか。今後はヨーロッパ建設の偉業を記す進歩の歴史ではなく、互いに傷つけあう尖ったナショナリズムへのなし崩し的な後退の歴史がみられるだけだと、解釈すべきなのか。

シャルリ・エブド襲撃事件からはじまった2015年。イスラームへの歪んだ構えがあらためて、ヨーロッパ全体に伝染した。ユーロ危機も燻ったままだ。チプラス政権の、国民投票や国政選挙を道具にしたアクロバチックな国家運営が続く。

ウクライナ危機も先行きが見えない。目を覆いたくなる報道が途絶えることはない。ミンスク合意の完全履行はいまだ達成されず、真の停戦はウクライナ東西分割以外にありえないかの雰囲気も漂う。

難民危機はヨーロッパの本性をあらためてさらけ出してしまった。EU的ディスタクトルに綺麗にデコレートされていたその中身は、200万人の難民をトルコに押し込め、常勤スタッフ1000人規模のEU境界沿岸警備隊の設置でもってヨーロッパを外敵から守るといった、フツウの利己的大国風のものであった。中東・北アフリカより押し寄せる難民は、当初の観測をゆうに越え、年末には100万人にも達する勢いである。加盟国ごとに設定された難民受け入れの割当は、ペーパーワークだけにおわりそうだ。が、それでも、EUはどこまでも、その理念を、価値を規範化し、みずからをデコレートしつづけるだろう。

そうした人道のEU、人権のEUの金メッキがはがれ落ちているまさにそのときに、パリ同時多発テロ事件が勃発した。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol65.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI ワークショップ「エネルギー分野における公的サービス推進者としての EU」

日時: 2016年1月13日(水) 13:00-14:30

場所: 一橋大学 国立東キャンパス マーキュリータワー5階 EUSI 会議室

言語: 英語

"A New Stance for the European Union as a Promotor of Public Services
in the Energy Sector?"

(エネルギー分野における公的サービスの推進者としての EU)

講演: Markus Kern (University of Fribourg, Swiss)

司会: 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授・EUSI 所長)

2. EUSI シンポジウム「経済通貨同盟にかかわる法的諸問題」

日時: 2016年1月15日(金) 13:15-17:30

場所: 一橋大学 佐野書院 (国立東キャンパス)

言語: 英語

参加: 事前登録要

参加を希望する方は、1. 氏名、2. 所属、3. どうやってこのシンポジウムを知ったかを明記の上、EUSI 事務局 (info@eusi.jp) 宛にご連絡ください

司会: アンドレア・オルトラニ (慶應義塾大学特任講師)

13:00 開場

13:15 挨拶 中西優美子 (一橋大学教授・EUSI 所長)

13:20-14:00 「EMU とユーロ(仮)」

レネ・ダイグナン (駐日 EU 代表部通商経済部シニア・エコノミスト)

14:00-14:40 「EMU にかかわる権限問題」

中西優美子 (一橋大学教授・EUSI 所長)

15:00-16:00 「ユーロ危機における欧州中央銀行の役割」

マルクス・カーン (スイス フリブール大学上級助手)

16:00-17:00

ファビアン・アンテンブリック (蘭 エラスムス・ロッテルダム大学教授)

17:00-17:30 パネル・ディスカッション

3. EUSI ワークショップ

日時: 2016年1月18日(月) 16:30-18:00

場所: 一橋大学 国立東キャンパス マーキュリータワー5階 EUSI 会議室

言語: 英語

講演: Fabian Amtenbrink (Erasmus University, Rotterdam)

司会: 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授・EUSI 所長)

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

田中俊郎 (EUSI 理事、慶應義塾大学名誉教授、ジャン・モネ・チェア)
「EU・中国関係 EU の対中政策を中心に」
『東亜』(霞山会) 第 582 号 (2015 年 12 月 1 日刊行) 20-29 頁
http://www.kazankai.org/new_vol.php

林大輔 (EUSI 研究員兼プログラム・コーディネーター(政治))
「欧州難民危機と EU」(外交政策センター(FPC)、2015 年 12 月 14 日)
<http://www.gaikoseisakucenter.tokyo/reports/europarussia2015.html>

【EU に関する新刊紹介】

庄司克宏『はじめての EU 法』(有斐閣、2015 年 12 月 3 日刊行)
<http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/9784641048164>
<http://www.amazon.co.jp/dp/4641048169/>

本書の著者である庄司克宏先生より、本書のご紹介を頂きました。

『はじめての EU 法』は、基本的体系書として執筆した『新 EU 法 基礎編』および『新 EU 法 政策編』(岩波書店)の入門書として位置づけられる。

この本はアメリカ法および中国法との三部作を構成している。それぞれにキーワードがあり、アメリカ法は「契約」、中国法は「党の指導」である。これに対し、EU 法のキーワードは、スプラナショナルとトランスナショナルである。EU は過去の負の遺産である敵対関係を断ち切り、平和と繁栄をトランスナショナルな運命共同体として構築するために、スプラナショナルな機構を創設する必要があった。一般に EU はアジアの地域統合のモデルとはならないと言われるが、この側面はアジアにも応用できるのではないかとも思われる。

EU 法という、わが国では「外国法」の 1 つとして位置づけられることが多いが、それは 1 つの側面に過ぎない。複数の国家が平和な関係を構築して経済的繁栄を得る手段として EU 法が用いられている。EU や広く地域統合を理解するためには、政治面および経済面だけでなく法制度的側面をあわせて理解することがますます重要になっている。そのような点を念頭に置いて、今までにない形式でわかりやすく、かつ、入門書ながら EU 法を体系的に執筆した(つもりである)。

本書の構成は、次のとおりである。

EU 法を学ぶ前に知っておきたいこと

第 1 部 EU 法を支える原則

- 第 1 回 ヨーロッパ統合と EU 法
- 第 2 回 個人が裁判所で EU 法を使えるということ
- 第 3 回 EU 法と国家主権の調整

第 2 部 EU 法とはなにか

- 第 4 回 トランスナショナルな法空間
- 第 5 回 物・人・サービス・資本の自由移動
- 第 6 回 トランスナショナルな自由競争
- 第 7 回 単一通貨ユーロの仕組み

第 3 部 トランスナショナルな課題と EU 法

- 第 8 回 EU 市民権と外国人
- 第 9 回 物の自由移動と契約法
- 第 10 回 人の自由移動と刑事司法協力
- 第 11 回 域内市場と環境保護

第 4 部 EU の統治機構

- 第 12 回 EU の権限と諸機関
- 第 13 回 EU 立法と民主主義の赤字
- 第 14 回 EU 行政の仕組み
- 第 15 回 EU の司法制度

EU 法をはじめとして国際法や国際経済法を学ぶ方だけでなく、広く国際政治や国際経済を学んでいる方や実務家の方にも、ぜひ一読いただければ幸いです。

庄司克宏 (慶應義塾大学大学院法務研究科教授、ジャン・モネ・チェア)

【EU に関するニュース】

- 2015 年 11 月 14-15 日 駐日 EU 代表部、サイエンスアゴラに初出展。日欧国際共同研究の事例紹介が賞を受賞
- 2015 年 11 月 16 日 EU・ジョージア連合協定評議会第 2 回会合、両者間関係の発展やジョージア国内改革を評価
- 2015 年 11 月 16 日 モグリーニ上級代表、アウンサンスーチー氏と選挙後の平和的移行などに関し電話会談
- 2015 年 11 月 16 日 欧州防衛機関(EDA)年次会議、欧州の防衛能力や防衛産業研究に関する報告及び意見交換
- 2015 年 11 月 16-17 日 EU 外務理事会、シリアや難民危機、EU 基本条約に基づく集団的自衛権行使などを協議
- 2015 年 11 月 17 日 欧州委員会、伊・墺・スペインなど 4 カ国の来年度予算案が EU 財政規律違反の恐れと警告
- 2015 年 11 月 17 日 バルス仏首相、テロ対策の安保予算増額のため来年度 EU 財政規律目標困難との見解表明
- 2015 年 11 月 17 日 EU 報道官、サウジアラビアの今年の死刑執行数が 150 名を超えたのを受け死刑反対の声明
- 2015 年 11 月 18 日 欧州委員会、エネルギー同盟第 1 回現状報告書を発表。気候変動や地政学的問題など指摘
- 2015 年 11 月 18 日 欧州委員会、欧州近隣政策(ENP)評価発表。安定化への発展や安全保障など優先事項提示
- 2015 年 11 月 19 日 ECB、10 月理事会議事要旨公開。原油安に伴うデフレリスクや中国の景気不透明感等協議
- 2015 年 11 月 20 日 EU 司法・内務理事会、パリ同時多発テロを受け、旅客情報や国境管理、刑事司法など協力
- 2015 年 11 月 20 日 モグリーニ上級代表、マリの高級ホテルへの武装集団襲撃を受け、テロ対策強化の声明
- 2015 年 11 月 20 日 モグリーニ上級代表ら、世界子どもの日に寄せて、児童保護や難民保護強化を謳う声明
- 2015 年 11 月 23 日 ユーロ圏財務相会合、伊・墺など 4 カ国の財政規律問題やギリシャ金融支援など協議
- 2015 年 11 月 23 日 欧州安定メカニズム(ESM)理事会、対ギリシャ支援として 20 億ユーロの融資を承認
- 2015 年 11 月 23 日 英「国家安全保障戦略(NSS)・戦略防衛・安全保障見直し(SDSR)」発表
- 2015 年 11 月 23-24 日 EU 教育・青少年・文化・スポーツ理事会、紛争地域の文化遺産保護や異文化対話協議
- 2015 年 11 月 24 日 欧州委員会、預金保護や金融部門のリスク軽減のため、欧州預金保険制度(EDIS)を発表
- 2015 年 11 月 24 日 ユンカー委員長、伊など 9 カ国に単一破綻処理基金(SRF)に関する批准を促す書簡送付
- 2015 年 11 月 24 日 欧州委員会、トルコでの難民保護支援として「トルコのための難民ファシリティ」創設
- 2015 年 11 月 24 日 欧州議会ラックス映画賞、保守的社会での姉妹 5 人の人生の挑戦を描く「Mustang」受賞
- 2015 年 11 月 24 日 モグリーニ上級代表ら、女性に対する暴力撤廃の国際デーに寄せて共同声明
- 2015 年 11 月 24 日 英 Independent 紙世論調査、英の EU 残留支持は 48%、離脱支持は 52%
- 2015 年 11 月 24 日 トルコ、ロシア軍機撃墜。翌日モグリーニ上級代表、ラブロフ露外相と IS 掃討協力確認
- 2015 年 11 月 24-25 日 ストルテンベルク NATO 事務総長、マケドニア及びモンテネグロと NATO 加盟に関し協議
- 2015 年 11 月 25 日 ユンカー委員長、欧州議会にてシェンゲン協定は麻痺しながらも同協定の意義を強調
- 2015 年 11 月 25 日 ECB、半期金融安定報告(FSR)発表。急激な新興国市場の動向や米利上げのリスクを指摘

- 2015 年 11 月 25 日 欧州委員会、COP21 で拘束性のある合意形成や EU の立場を確認するプレスリリース発表
- 2015 年 11 月 26 日 欧州委員会、「2016 年次成長概観」「ユーロ圏経済政策提言」など一連の経済政策発表
- 2015 年 11 月 26 日 欧州環境機関(EEA)報告書、2014 年 EU 域内販売自動車の CO2 排出効率は前年比 2.5%向上
- 2015 年 11 月 26 日 EU 報道官、ベネズエラ選挙中の野党指導者 L・ディアス氏射殺に対し法の裁き求める声明
- 2015 年 11 月 27 日 EU 外務理事会、第 10 回 WTO 閣僚会議や TTIP などの自由貿易協定に関して協議
- 2015 年 11 月 29 日 EU 加盟国及びトルコ首脳会談、難民危機共同行動計画や同国 EU 加盟手続活性化など協議
- 2015 年 11 月 30 日 COP21(国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議)、パリで開幕。2020 年以降の枠組協議
- 2015 年 11 月 30 日 Eurobarometer、EU 政策への関心や EU 加盟による利益など調査。加盟国間で大きな差異
- 2015 年 11 月 30 日 モゲリーニ上級代表ら、世界エイズデー前夜に EU のエイズ撲滅への取組みに関する声明
- 2015 年 11 月 30 日-12 月 1 日 第 34 回 EU・中国人権対話、EU は中国の国家安全法・反テロ法や活動家逮捕懸念
- 2015 年 11 月 30 日-12 月 4 日 日・EU EPA 交渉第 14 回会合、関税問題など本年中の大筋合意に至らず、越年へ
- 2015 年 11 月 30 日-12 月 4 日 EU・中国投資協定交渉第 8 回会合、進展するも本年中の条文案提示目標に至らず

【編集後記】

12 月 10 日に EUSI 主催のシンポジウム「EU、日本及びアメリカの FTA」を開催しました。ショートノーティスであったにもかかわらず多数の方に参加していただき、お礼を申し上げます。

このシンポジウムでは、今まさに進行しているホットなテーマを取り上げ、内外の研究者、法律家、外交交渉に関わっている実務家という多彩なメンバーに集まっていただくことができました。各々によるプレゼンテーションとパネルディスカッションという内容が多くの方の関心を引いたようで、大学やシンクタンクのみならず、実務に携わっている専門家の方の参加が目立ちました。情報を提供することも必要ですが、これだけではやはり限界があることから、多様な情報を整理、分析し、考えるヒントを提供することが、我々の役割だと感じています。

こうした方針のもと、EUSI では、1 月 15 日に EU の経済通貨同盟に関する法的諸問題についてのシンポジウムを一橋大学で、また 3 月 4 日には日・EU 関係を中心に包括的な経済問題を議論するトップ・エコノミスト・ラウンド・テーブル(TERT)を慶応義塾大学で開催する予定です。皆様の知的好奇心を刺激するものになると思います。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

今年最後のメールマガジンを配信いたします。

今年振り返って最も印象深い仕事となったのは、ファン＝ロンパイ欧州理事会前常任議長をお招きして講演会を開催したことと(6 月)、今年前半で最も注目された選挙の一つであった英総選挙に関するシンポジウムを行ったこと(5 月)、そして明日開催される外務省の「MIRAI プログラム」という知的交流事業です。この「MIRAI プログラム」とは、欧州(ロシア・中央アジア含む)で日本に関心を寄せる優秀な若手の人材の基盤拡大のため、欧州各国のトップスクールの大学生・大学院生 150 名を日本に招聘し、日本の政治・経済・社会・文化などに関する質の高い講演や意見交換・人的交流を行う事業です。私自身も学生時代に、このような国際大学生会議という事業に参加し、海外の

学生らと何日にもわたって討論し、会議の最後に提言やアクション・プランを出すなど、次世代のリーダーたちの知的ネットワークを作るための事業に何度か関わったことがありました。

今回「MIRAI プログラム」は外務省による本年度からの新規事業でもありますがこのような大きな事業に EUSI が日本側実施機関のひとつとして参加できるのは非常に嬉しく思います。また参加される学生の皆様も、どうかこの機会に多くの同世代の日本や欧州の知己を得て、今後の自らの知的活動や人脈の拡がりに繋げてゆくことができるよう祈っています。

外務省事業「MIRAI プログラム」

<http://eusi.jp/collaboration/program/mirai-program2015/>

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo

〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局

TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら

E-mail: info@eusi.jp
